

大人たち全員で、地域全体で、子どもたち全員をもっと愛して、見守り、育む。

雑草 vs PTA

8/21(日)。新学期を10日後に控え、第二回の奉仕作業が行われました。今回の担当地区は、砥上、石櫃、中牟田村、中牟田町、二の5地区の保護者にご協力いただきました。お父さん方にはグラウンドの側溝の蓋あげ、溝さらえに率先して参加して頂き、子どもたちも慣れない一輪車でせつせと泥を運び出してくれました。前回から三カ月程ですが、しっかりと成長した雑草たち…。草刈機で刈り取ると共に、お母さん方には人海戦術的に草取りをして頂きました。夏休みの貴重な日曜日、大変暑い中での奉仕作業でしたが、ご協力頂きました保護者の皆様、そして子どもたち、ありがとうございました。

プールとかき氷と綿菓子のご褒美

8/21(日)。奉仕作業終了後、「親父の会」によるプール解放が今年も開かれました。プール日和の中、9時半の開始とともに子どもたちは元気よくプールの中へ。水着で参加した保護者も童心に返り、真夏の涼を楽しみました。45分ごとに休憩を取り入れ、休憩時には今年もかき氷と綿菓子が無料で振る舞われました。夏休み後半の思い出づくり、子どもたちの笑顔と歓声が間近に見られる機会を作って頂いた「親父の会」の皆様、今年もありがとうございました。



ジャーン。通学路



皆様お気づきのことと思います。夏休みの間に通学路の一部区間を整備して頂きました。整備にあたっては、昨年5月より学校運営協議委員の酒見忠則氏、前・石櫃区長の深江周一氏、町議の奥村ただよし氏に筑前町役場の建設課に何度も足を運んで交渉を重ねて頂き、中牟田校区13区長連盟による『要望書』を12月に提出していました。まさに、大人たち全員で、地域全体で子どもたち全員を見守る姿がここにもあります。整備されたとは言え、広い歩道のない通学路は常に危険と隣り合わせです。車を運転する大人はもちろん、児童たちも交通ルールを守って、自分の命をしっかりと守ってほしいと思います。

祖父母参観



9/10(土)の祖父母参観には、多くのおじいちゃんおばあちゃん、そして地域の方々に子どもたちの授業風景を見学して頂き、また一緒に工作を楽しんだり、そろばんを弾いたり、裁縫したりと授業にも参加して頂きました。少し緊張気味や照れくさそうな子どもたちでしたが、祖父母の方々に於かれては、家庭とは違うお孫さんの姿を見ていただけたことと思います。これからも、中牟田小の子どもたちの教育に積極的に参加して頂きたいと思っております。



こども食堂「ほとめき」

この度、中牟田地区の有志の方々(会長/学校運営協議委員 酒見忠則氏)により、こども食堂 食・遊・和 「ほとめき」が組織され、7月30日(土)中牟田町公民館にて第一回が開催されました。開催にあたり、設立式には田頭町長、副町長、そして糸井校長先生をはじめとする23名ものご来賓の方々にもご参加頂き、子どもたちを含め総勢116名の賑やかな会食となりました。この「ほとめき」は、地域の子どもや高齢者の孤食を減らし、食事の場を通して多世代の人たちと交流する中で、自助・自立・共助の気持ちを育むコミュニティ作りを目的としています。食材の多くは地域の方々に寄付して頂き、食事代は無料です。第一回に引き続き、8/9(火)そうめん流し、8/20(土)夏野菜カレーと夏休みに3回開催されました。次回は9/22(木)を予定しています。学校を通してご案内させていただきますので、是非ご参加下さい。ボランティアでご協力頂ける方も随時募集いたしております。自ら参加して、この“こども食堂”を“みんなの食堂”にしていって欲しいと思っております。

「ちょっと心をかしてくれませんか」

筑前町PTA連合会の研修会が9/16(金)18:30~ めくば一町民ホールで行われます。今回は、講師にヒューマンバンド「熱と光」の宮崎保氏をお迎えし、体験談や歌を通して子育てについてのヒントやアドバイスを語って頂きます。多くの保護者のご参加をお願いいたします。

眠れない夜

二世タレントの不祥事で、親の責任が世間で叫ばれ問われている…。明日は我が身。誰が彼女に石を投げることが出来るのか? 僕には出来ない。今日も息子に教える。教えているつもり。命とは何か。心とは何か。愛とは何か。何が大切か。何が危険か。人間関係…。挨拶・行儀。そして、夢と希望…。だけど、所詮、自分が知っていることしか教えられるふがいなさ。そして、自分自身が出来もしないことを教える。それは、教えなくてはいけないから。しかし、仮に教えられたとしても、それを彼が学習して身に付けられるかどうかは別問題。彼自身に考えて学んでもらうしかない。種は常に、劣勢遺伝であるから、上乘せして教え込み、学ばせ鍛えなくては種としては退化する。教育の方向性を間違えてはいけない。大人にとって都合の良い人間を育ててもいけない。過保護によって人間を家畜化してはいけない。昔から、親の後ろ姿をみて子どもは育つ…と言われ続け、言葉で教える以上に感じて学ぶことがある。考えて学ぶことと感じて学ぶこと。親として何を教え、何を伝えるのか。親には、それしか出来ない。その先は、全て彼自身が学び、身に付けてくれることを祈り、委ねるしかないふがいなさ…。そんな風に、秋の夜長は自分を責める。そして、ふと気付く。ひょっとして、自分はMなのか? 眠れない夜が今夜も続く…。

田中角栄100の言葉 別冊宝島編集部 編

ブックレビュー 読む(読も楽)



宝島社

最近、何故か巷に田中角栄が溢れている。死後24年が経ち、時代が求めたのか、誰かが仕掛けたのか…。外為法違反のロッキード事件の悪い政治家(首相)というイメージが強いかも知れないが、彼はやはり日本のリーダーの中のリーダーだったのだろう。今の日本のリーダー、あるいは社会に対するフラストレーションが、今、角栄を求めているのかも知れない。そんなことを思わせる明確な言葉が綴られていて、読んでいて気分が晴れる一冊です。

9月10月 PTAスケジュール

- 1日・15日(木)朝のあいさつ運動
- 10日(土)祖父母参観・バザー
- 16(金)町P連研修会
- 3日・17日(月)朝のあいさつ運動
- 29日(土)土曜授業
- 秋のおやつ作り教室(健康)
- 花植え・草取り(環境)